

田園にて・・・

In The Rural...

KUNST ARZT では、池田ひかるの個展を開催します。
池田ひかるは、田舎と少女をモチーフに、
現実と非現実の境目を描き出すアーティストです。
ドレスをまとった案山子と田園、夕暮れの集落とマネキン・・・特に奇を衒うモチーフでは無いのにも関わらず、
異界への扉を開けてしまいそうな気配を漂わせています。
本展は、作家の生まれ故郷である「蒲生」の風景の中に、
少女の姿をした「何者か」を描くという連作から構成されます。ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



マネキン 1号
りんごを食べなかったイヴ
2020
910 × 727mm 油彩、キャンバス

経歴

1991 滋賀生まれ
2014 成安造形大学卒業
2016 京都嵯峨芸術大学大学院修了

個展

2013 「Lonely girl」 ギャラリーキューブ
2015 「池田ひかる展」 Art Place U2
2019 「村八分」 SUNABA ギャラリー
2020 「蒲生の風景展」 西田礼三郎邸
2020 「蒲生の風景展」 わたむきホール虹

グループ展

2015 「幻想美術の現在展」 SUNABA ギャラリー
2016 「絵のお化け展」 SUNABA ギャラリー
2016 「幻想絵画」 SUNABA ギャラリー
2017 「思い出の向こう側」 SUNABA ギャラリー
2018 「静かな生活」 S UNABA ギャラリー
2018 「少女地獄●現代篇」 SUNABA ギャラリー
2019 「Point 04 風景の発見」 SUNABA ギャラリー
2020 「無人地帯」 SUNABA ギャラリー

2021年1月26日(火) から 31日(日)

12:00 から 18:00

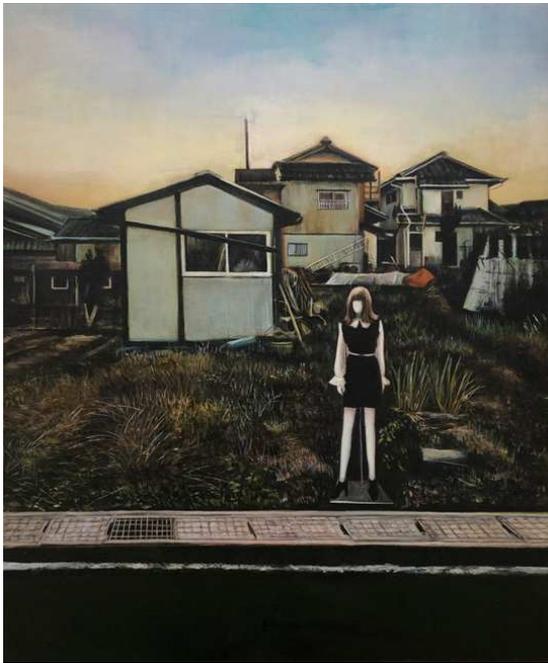
会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

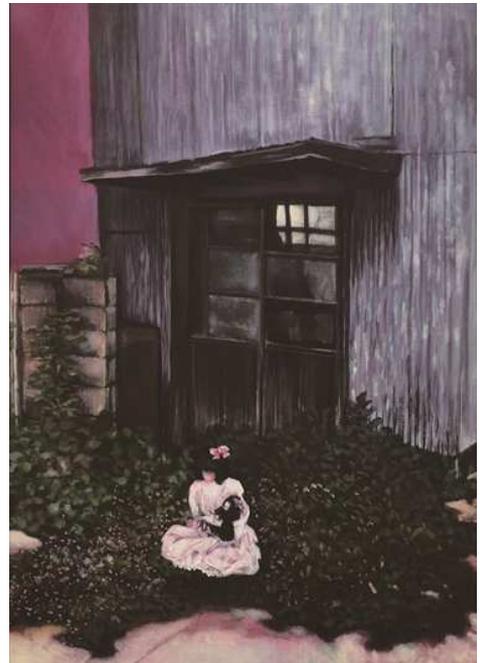
田園にて・・・
In The Rural...

展覧会コンセプト

私が育った「蒲生」の地は、時間が止まっているような、
あるいはゆっくりと進んでいるような、古くからの過去の記憶が漂う土地である。
そんな地元の風景の中に、少女の姿をした「何者か」を描き続けてきた。
今回の展示は、土地に蓄積されてきた記憶、
精神性を絵画であらわすことをねらいとして制作した作品である。



マネキン 2号 マリアの雛形
2020
500 × 606 mm 油彩、キャンバス



私のモモコちゃん
2018
515 × 364 mm アクリル絵具、イラストボード



案山子の女の子
2018
727 × 606 mm 油彩、キャンバス



キャベツ畑
2019
530 × 460 mm 油彩、キャンバス